

【2024年度(令和6年度) 秋季講座 講師による読み聞かせの様子】

読み聞かせでは、子どもたち(講座なので聞いているのは大人です)によく見えるように絵本を安定して持ち、絵本に体が被らないように姿勢を正して、全員によく聞こえる声で読んでいきます。(吹き出しの内容は受講生のアンケートより)

全講座を通して、「読み聞かせにとって大切なことは何か」「いい本とは？」を常に考えていたように感じます。これからも考え続けていきたいです。



たくさんのよい絵本に出会うことができ、とても豊かな時間を過ごせました。プログラムの作り方を学び、その奥深さに気づくと共に、おもしろさも知ることができました。

絵本の読み聞かせの技術や知識をたくさん学ばせていただきました。読み聞かせの実践は、想像以上に難しく練習が必要で大変でしたが、気を付けなければいけないポイントがよく分かりました。

課題を提出するためには、たくさんの本を読み考える必要があり大変でしたが、そのおかげでこれまで手にしなかった詩集やノンフィクション、高学年向けの本も知ることができ、興味が深まりました。